大阪市大阪港湾局設計・施工技術連絡会議 議事録

工事名称	夢洲2区(南東部)土地造成工事[地盤改良工]		
会議名称	第1回	大阪市大阪港湾局設計・施工技術連絡会議	
開催日時	令和4年3月23日(水)9時30分～10時		
開催場所	大阪港湾局 第6会議室(ATCビル ITM棟10階)		
出席者 (役職・氏名)	発注者	設計コンサルタント等	施工者
	【大阪港湾局 計画整備部 保全監理課】 保全監理課長：足立 保全監理課長代理：原 設計担当課長代理：田野 担当係長：林(設計) 担当者：川崎(設計)	【(株)中堀ソイルコーナー】 管理技術者：花房 担当技術者：岡田 担当技術者：谷口	【五洋・ヤマト特定建設工事共同企業体】 現場代理人・監理技術者：佐藤
議題・議事の内容			
<p>【大阪港湾局計画整備部保全監理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、令和3年11月2日付けで契約締結を行い、令和5年2月28日を工期として、表層混合処理工、シート工、敷砂工、盛砂工及びプラスチックボードドレーンを実施する工事である。 ・現場施工に先立ち実施した土質調査を踏まえた盛砂工の変更について施工者より提案がある。 <p>【五洋・ヤマト特定建設工事共同企業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表層混合処理工の現場着手に先立ち、工事区域内の8か所について、地盤調査を行ったところ、現地盤の粘着力が設計値 1.97kN/m² より大きく、表層固化盤下端(深度1m)で 2.8kN/m² であることがわかった。 ・それを基に、敷砂工の施工機械、プラスチックボードドレーンの施工機械で表層固化盤の応力照査、施工時のめり込み量や円弧滑りの計算を行ったところ、盛砂工の施工を実施しなくても、プラスチックボードドレーンの施工が可能であることがわかった。 ・そのため、本工事において盛砂工を実施しないこととしたい。 <p>【(株)中堀ソイルコーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初設計時は土砂移動や不陸整正により表層部が乱されて強度低下が起きる可能性もあることから表層の粘着力を用いて設計を行っていたが、施工段階において表層固化盤下端位置での粘着力の最小値で評価することは妥当だと考えている。 ・この照査結果によると、盛砂工なしでプラスチックボードドレーンを施工することについて、特段の問題はない。 <p>【大阪港湾局計画整備部保全監理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事終了後、別途工事で盛土工を行うが、影響はないのか。 <p>【五洋・ヤマト特定建設工事共同企業体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛砂工を実施しない場合でも、本工事終了後の盛土工について、特別な制約が生じないことを確認している。 			

【大阪港湾局計画整備部保全監理課】

- ・本工事は照査上問題ないとの結果であるが、机上の計算であることを十分に考慮したうえで安全に施工を行っていただきたい。

【大阪港湾局計画整備部保全監理課】

- ・施工者が実施した照査及び設計コンサルタントの確認を踏まえ、本市としても盛砂工を実施しないことを確認する。

以上